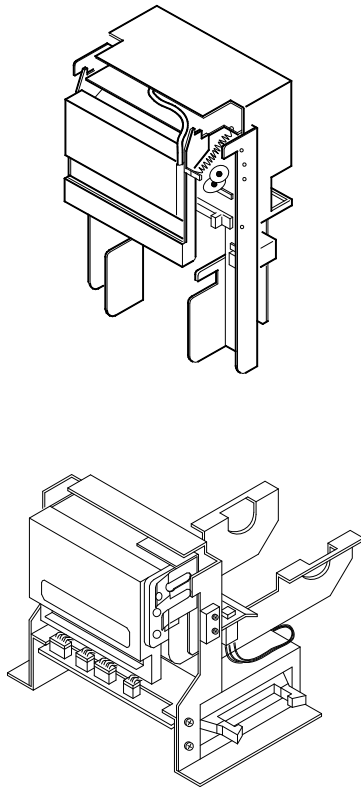


カッタ付サーマルプリンタ

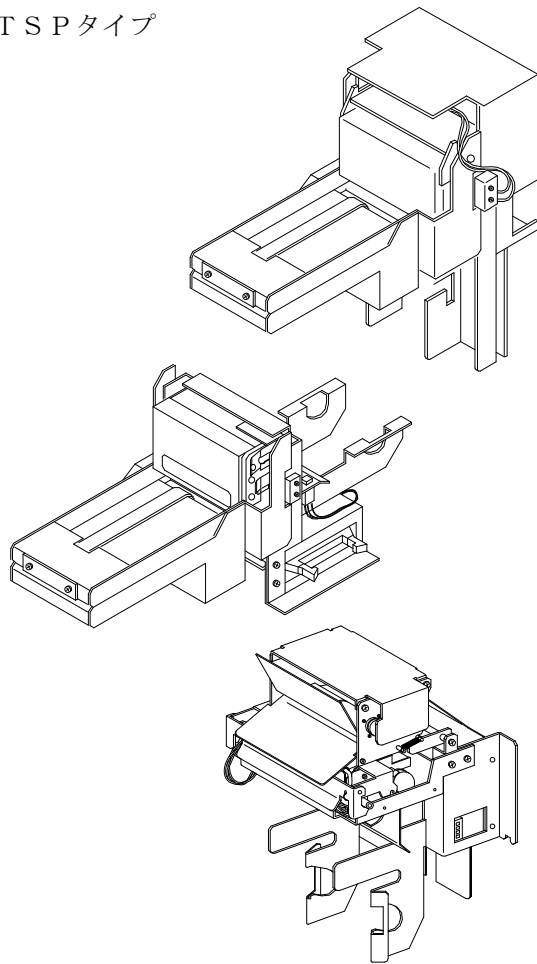
MODEL
TS / TSP - 6 X 2 C シリーズ

操作説明書

TSタイプ



TSPタイプ



このたびは、カッタ付サーマルプリンタをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。正しくご使用いただくために、この操作説明書をよくお読みのうえ、末永くご愛用くださるようお願い申し上げます。お読みになった後は、大切に保管してください。

安全上のご注意

※ ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
又、お読みになったあとは 本製品の近くなど いつでも見られる場所に必ず保管して下さい。



この「安全上のご注意」では、製品を正しくお使い頂き、あなたや他人の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな注意事項を絵表示で示します。

注意事項は、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を危害や損害の程度によって「警告」、「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守り下さい。

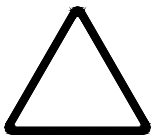





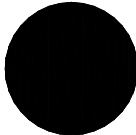


その表示と意味は次の様になっています。

内容をよくご理解の上、本文をお読み下さい。

☆ 危害・損害の程度とその表示

 警告	この表示を無視して 誤った取扱いをしますと、人が死亡 又は 重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して 誤った取扱いをしますと、人が傷害を負う可能性が想定される内容 及び 物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

	<p>この記号は一般的な注意、警告、危険の通告に使用します。 図の中に具体的な注意内容が描かれています。</p> <p>(例)</p> <p> : 一般的な注意事項</p> <p> : 感電注意</p>
	<p>この記号は一般的なしてはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容が描かれているものもあります。</p> <p>(例)</p> <p> : 分解禁止</p> <p> : 接触禁止</p>
	<p>この記号は必ず従っていただく内容であることを告げるものです。 図の中に具体的な指示内容が描かれています。</p> <p>(例)</p> <p> : 一般的な行為の指示</p> <p> : 電源プラグ抜け</p>



警告



電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、がたつきのない様に刃の根元まで確実に差し込んで下さい。

ほこりが付着したり 接続が不完全な場合は、火災・感電の恐れがあります。
(プラグは根元まで確実に差し込んで下さい。)



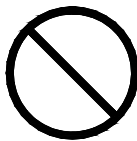
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないで下さい。又、重い物をのせたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないで下さい。

電源コードが傷んだ時は、販売店に交換をご依頼下さい。そのまま使用しますと火災・感電の恐れがあります。



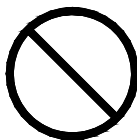
表示された電源電圧以外の電圧で使用しないで下さい。又、タコ足配線はしないで下さい。

火災・感電の恐れがあります。
(交流100V 50/60Hzの商用電源コンセントに接続して下さい。)



必ず電源を接続する前にアース接続して下さい。

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に火災・感電の原因となる恐れがあります。

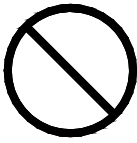


取り外したカバー、キャップ、ネジ等は小さなお子様が誤って飲むことがないように、又、本装置を包装しているビニール袋は誤って被ることがないように、小さなお子様の手の届かないところに置いて下さい。

万一の場合は、ただちに医師と相談して下さい。



警告



濡れた手で電源プラグの抜き差しをしないで下さい。
感電の恐れがあります。



電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるい時は使用しないで下さい。
そのまま使用すると火災・感電の恐れがあります。



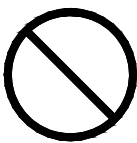
本機を分解・改造しないで下さい。
ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、火災・感電の恐れがあります。



本機のキャビネットを外さないで下さい。
内部の点検、修理は販売店にご依頼下さい。
内部には電圧の高い部分や鋭利な部分があり、感電やけがの恐れがあります。



湿気やほこりの多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないで下さい。
火災・感電の原因となる恐れがあります。



本機の上や近くに薬品や水などの入った容器 又は 金属物を置かないで下さい。
万一、こぼれたり 中に入った場合は、火災・感電の原因となる恐れがあります。
異物（水、液体、金属片など）が中に入った時は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡下さい。
そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。

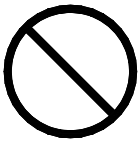


警告



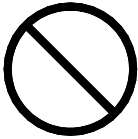
本機の開口部等から内部に金属類や燃えやすい物等の異物を差し込んだり、落としたりしないで下さい。

火災・感電の原因となる恐れがあります。



本装置に水をかけたり、濡らしたりしないで下さい。

火災・感電の原因となる恐れがあります。



ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所、振動や衝撃の多い場所には置かないで下さい。

落ちたり 倒れたりして、けがの原因になることがあります。万一、本機を落としたり キャビネット等を破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡下さい。そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。



万一、発熱している、煙が出ている、変な臭いがする等の異常が見つかった場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡下さい。

お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめ下さい。

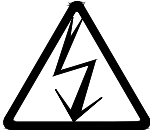


機器を落としたり、カバー等を破損した場合は、本装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。その後、販売店にご連絡下さい。

そのまま使用すると、火災・感電の恐れがあります。



警告



オプション機器の取り付けや取り外しを行う場合は、本装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてから行って下さい。

感電の恐れがあります。



オプション機器を接続する場合には、取扱説明書に書かれていない機器は接続しないで下さい。

火災・感電の原因となる恐れがあります。



注意



本機を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行って下さい。

又、接続ケーブルなども外して下さい。

作業は足元に十分注意して行って下さい。

コードが傷つき、火災・感電の原因となったり、機器が落ちたり倒れてけがの原因となることがあります。

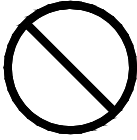


電源コードは、必ずプラグを持って抜いて下さい。

電源コードを引っ張りますと コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



注意



通電したまま 本機をカバー等で被わないで下さい。

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。



直射日光の当たる場所や暖房機の近くなど、高温になる場所に長時間放置しないで下さい。

高温によってカバーなどが加熱、変形、変色、溶解する原因となったり、機器内部が高温になり、火災の原因となる場合があります。



本機の上に重い物を置かないで下さい。

置いた物がバランスをくずして倒れたり落下してけがの原因となる場合があります。



調理台や加湿器のそば等 油煙や湯気があたる様な場所に置かないで下さい。

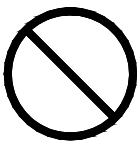
火災・感電の原因となる恐れがあります。



この機器の通風孔をふさがないで下さい。

通風孔をふさぐと 内部に熱がこもり、火災の原因となる場合があります。

本機を壁ぎわ等に設置する場合は、必ず10cm以上離して下さい。



結露状態のまま使用しないで下さい。

火災・感電の原因となる場合があります。

室温の低い所から暖かい場所に移動した場合 又 室内の温度を急に上げた場合は、ご使用前に30分以上放置して結露状態を取り除いて下さい。



注意

	<p>電源コードを熱器具に近づけないで下さい。 コードの被覆が溶けて、火災・感電の恐れがあります。</p>
	<p>カードなどの差し込み口に指などを入れないで下さい。 けがの原因となることがあります。</p>
	<p>記録紙交換等の際に、プリンタのギアに髪の毛やスカーフ等を巻き込まれない様にご注意下さい。 けがの原因となることがあります。</p>
	<p>プリンタへのヘッド部分には触れない様にご注意下さい。 けが・火傷の原因となることがあります。</p>
	<p>連休等で 長期間本機を使用しない時は安全のため、必ず 電源プラグをコンセントから抜いて下さい。</p>
	<p>落雷の恐れがあるときは、安全のため 必ず 電源プラグをコンセントから抜いて下さい。 火災の原因になることがあります。</p>
	<p>重量のある機器を移動する場合は、必ず 2人以上で運んで下さい。 腰や手を痛める恐れがあります。</p>

*** 目 次 ***

- 使用上の注意 1
- 付属品の確認 3
- 各部の名称 6
- ロール紙(記録紙)のセット方法 9
- 紙づまり時の対応 1 3
- FEEDスイッチ部のランプについて 1 3
- 印字中のペーパーエンドについて..... 1 4
- 搬送エラーについて 1 5
- メンテナンスの方法 1 7
- TSP-6X2CSベルト交換 1 8
- 消耗品の購入について 1 9

□ 使用上の注意

○ 設置について

- ・本機は振動が生じない様な場所で ご使用ください。
- ・高温・多湿 又、直射日光の長時間当たる場所でのご使用は避けてください。
- ・揮発性有機溶剤・アンモニア・油等の液体賡霧環境 又は 石や鉄分を含むホコリの多い場所でのご使用は避けてください。
- ・衝撃や振動の加わる場所や強い電磁界，腐食性ガスの発生する場所でのご使用は避けてください。
- ・電源ノイズの大きい機器（例えば空調機器）とは離してご使用ください。

○ 感熱紙の取り扱いについて

- ・使用、保存状態により発色(色が出る)、変色(色が変化)、退色(色あせる)する場合があります。

1 使用上の注意点

- ①爪、金属物で感熱紙表面を強くこすらない。
発色の原因となります。
- ②糊を使用する場合は水生糊を使用する。
溶剤系・ゴム系の糊、ステック糊は発色の原因となります。
- ③溶剤を含んだ筆記用具(油性サインペン、蛍光ペン)を使用しない。
変色の原因となります。
- ④濡れた手で触らない。
指紋がついたり、印字が不鮮明になる原因となります。

2 保存上の注意点

- ①直射日光、高温多湿の場所を避けて保管のこと。
変色、退色の原因となります。
- ②印字済み感熱紙を青焼きコピー(ジアゾ方式)と密着させない。
退色の原因となります。
- ③印字済み感熱紙をプラスチック製消しゴムに接触させない。
長時間の接触は退色の原因となります。
- ④印字済み感熱紙を軟質塩化ビニール製のファイルで保管しない。
退色の原因となります。
- ⑤長期保存が必要な場合はコピーしてください。
感熱紙の特性上長期保存はできません。

○ 記録紙切れ

- ・記録紙切れになった時は、FEEDスイッチのランプが約1秒周期で点滅します。

○ メカについて

- ・メカ部の主な板金部（プレス部）はメッキ鋼板を使用している為、端面に多少の錆が発生する場合があります。

○ 印字ヘッドについて

- ・記録紙をプリンタ装置にセットしていない状態で印字しないでください。
空印字しますと印字ヘッドやプラテンが傷みます。
- ・印字中、印字ヘッドに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。
- ・印字ヘッドは高温になります。温度が十分に下がるまで、手で触れないでください。

○ 衝撃について

- ・本機は精密な電子部品でできていますので、落としたり物を当てたりして衝撃を与えないでください。

○ 水や異物について

- ・本機内部に水や液状の物が入ったり、ピン・クリップ等の金属類を落とし込んだりしないでください。本機が故障する可能性があります。
- ・水や液状の異物が入った場合は、すぐに電源を切り電源コードを抜いてください。

○ 汚れについて

- ・本機の外装部ケース等の汚れは、柔らかい布に水又は中性洗剤を少し含ませて軽く拭き取ってください。
- ・シンナーなどの揮発性の物で拭いたりしますと筐体ケースの変色などの原因となります。

○ その他の注意

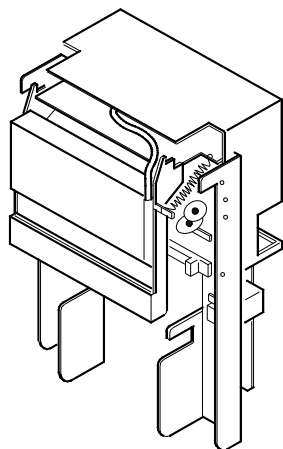
- ・本書の内容の一部又は全部を無断転載することはお断りします。
- ・本書の内容に関しては将来予告なしに変更する場合があります。
- ・本製品がお客様により本書の内容に従わず不適当に取り扱われたり、またナダ電子(株)及びナダ電子(株)指定の者以外の第三者により修理・変更されたことなどに起因して生じた損傷等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

(C)ナダ電子株式会社 1995

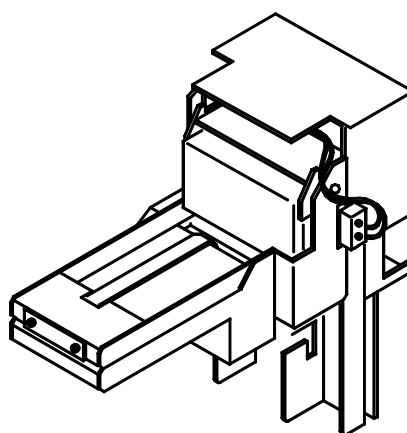
□ 付属品の確認（6 X 2 Cタイプ）

梱包箱より 本体部を取り出して、付属品を確認してください。

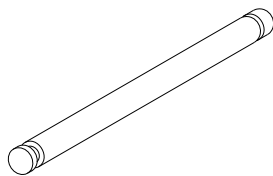
プリンタ本体（TS）



プリンタ本体（TSP）

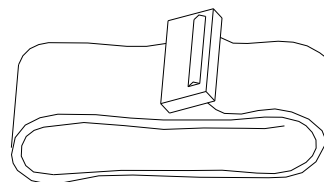


ロールシャフト



TS-622C	S-11 (オプションS-19)
TS-632C	S-20
TS-642C	S-21
TS-622CA	S-11 (オプションS-19)
TSP-622C	S-19
TSP-622CA	S-19

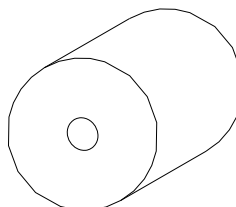
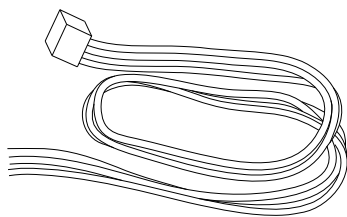
インターフェースケーブル（1m）



ロール紙：

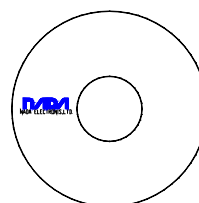
TS-622C	NP-580
TS-632C	NP-800
TS-642C	NP-1120
TS-622CA	NP-580
TSP-622C	NP-580
TSP-622CA	NP-580

電源ケーブル



本体装着の基板カバーは
オプションです。

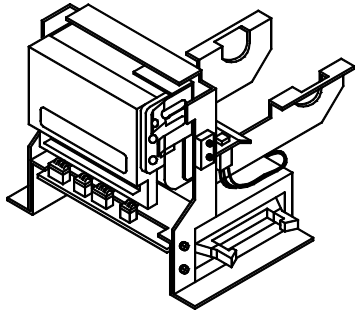
取扱説明書／操作説明書（CD-ROM）
（場合により付属しない場合があります）



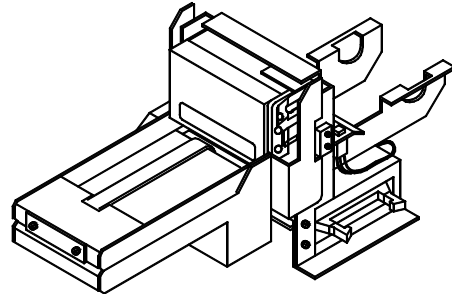
□ 付属品の確認（6 X 2 C Bタイプ）

梱包箱より 本体部を取り出して、付属品を確認してください。

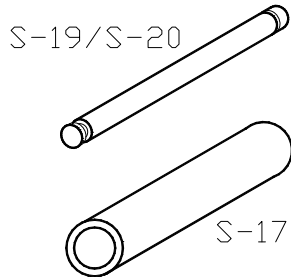
プリンタ本体（TS）



プリンタ本体（TSP）

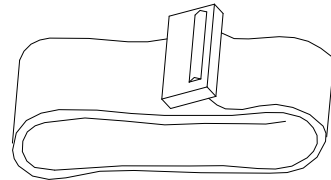


ロールシャフト

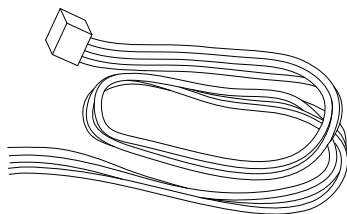


TS-622CB (58) TSP-622CB (58)	S-19
TS-622CB (60) TSP-622CB (60)	S-17
TS-632CB	S-20

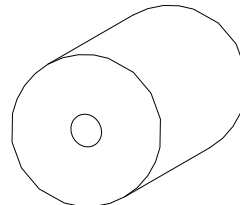
インターフェースケーブル（1m）



電源ケーブル

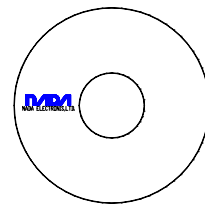


ロール紙：



TS-622CB (58) TSP-622CB (58)	NP-580
TS-622CB (60) TSP-622CB (60)	NP-604
TS-632CB	NP-800

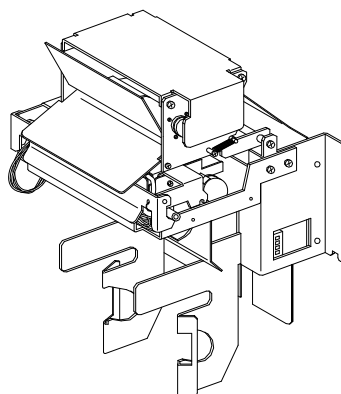
取扱説明書／操作説明書（CD-ROM）
（場合により付属しない場合があります）



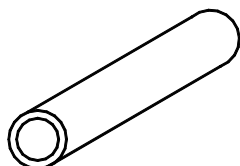
□ 付属品の確認（6 X 2 CSタイプ）

梱包箱より 本体部を取り出して、付属品を確認してください。

プリンタ本体

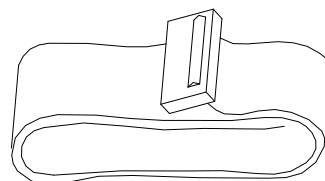


ロールシャフト

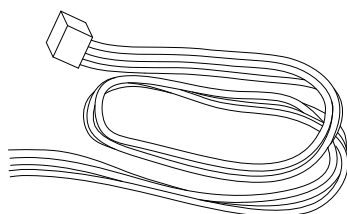


TSP-622CS	S-17
TSP-632CS	S-25

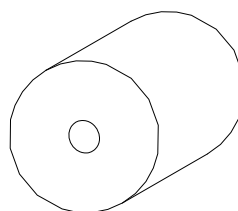
インターフェースケーブル（1 m）



電源ケーブル

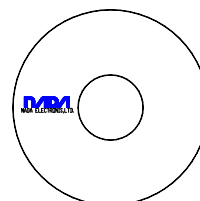


ロール紙：

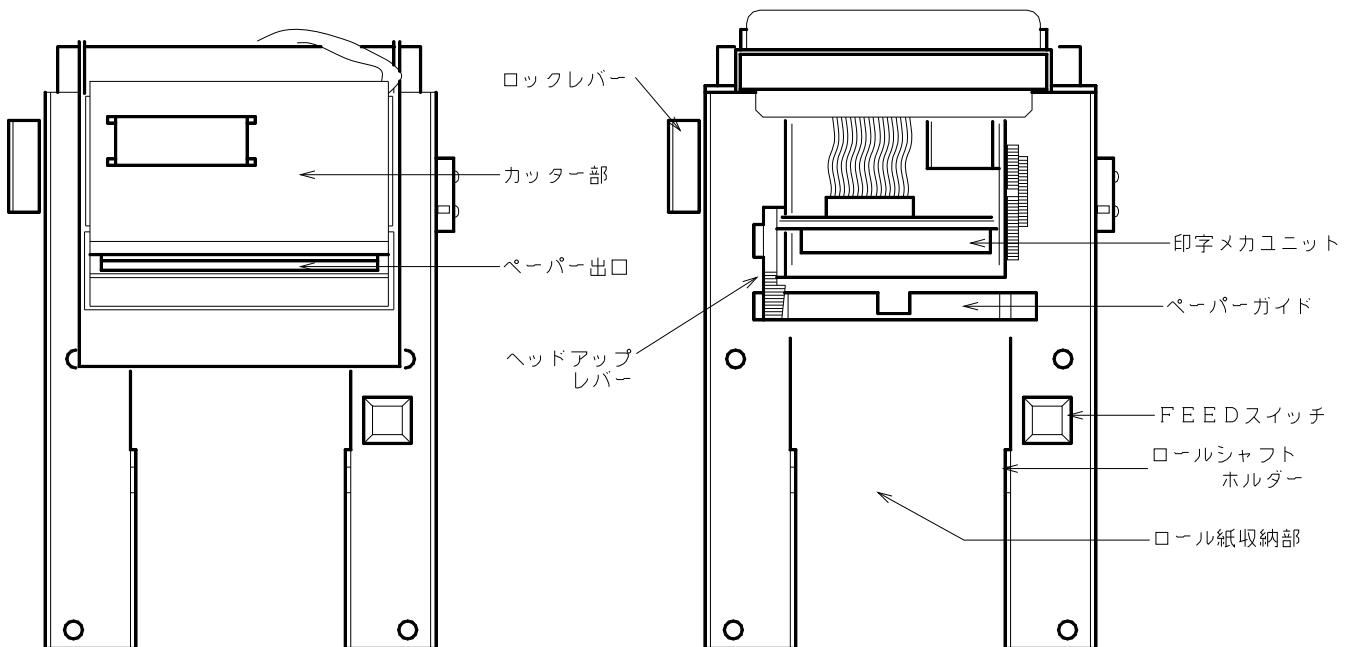
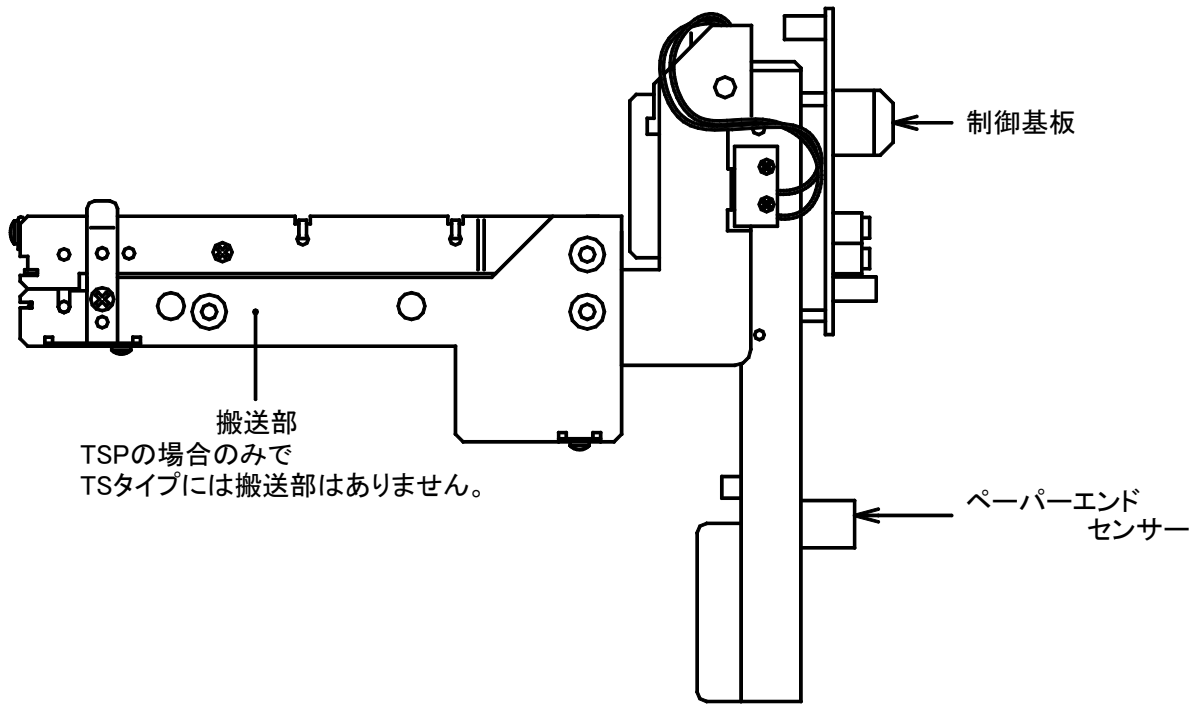


TSP-622CS	NP-604
TSP-632CS	NP-800CS

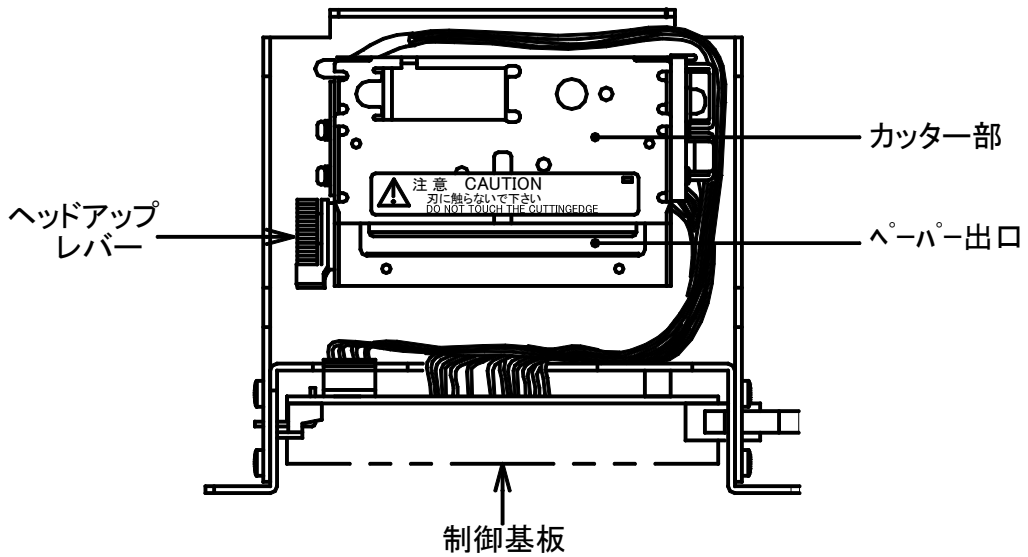
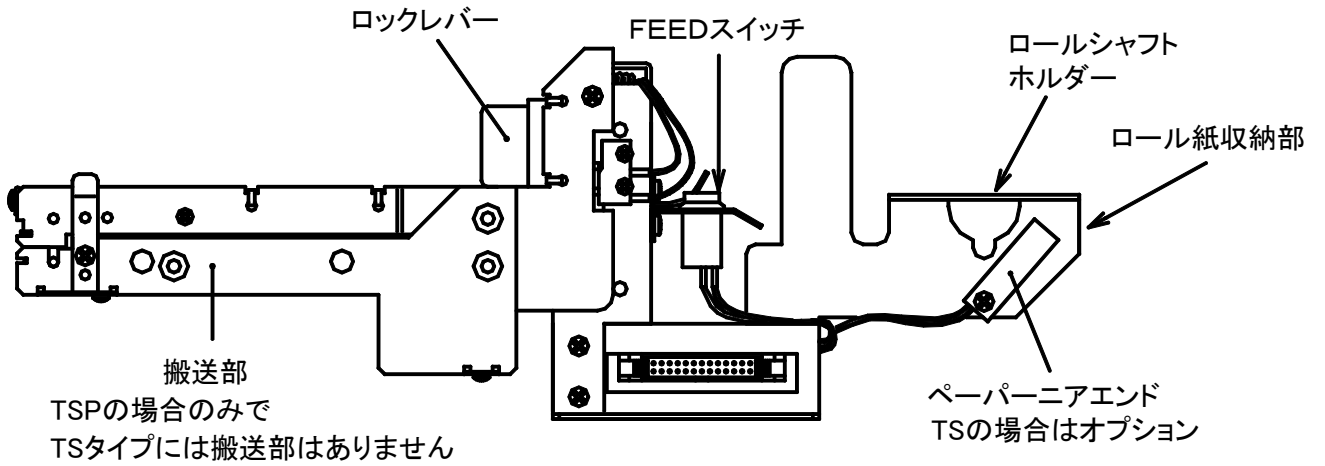
取扱説明書／操作説明書（CD-ROM）
（場合により付属しない場合があります）



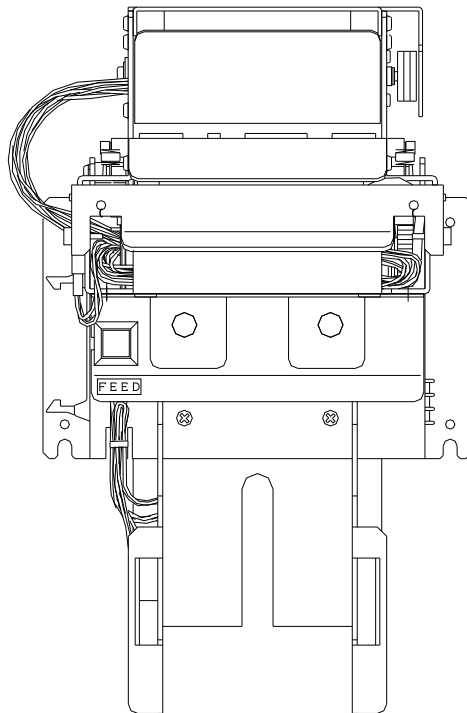
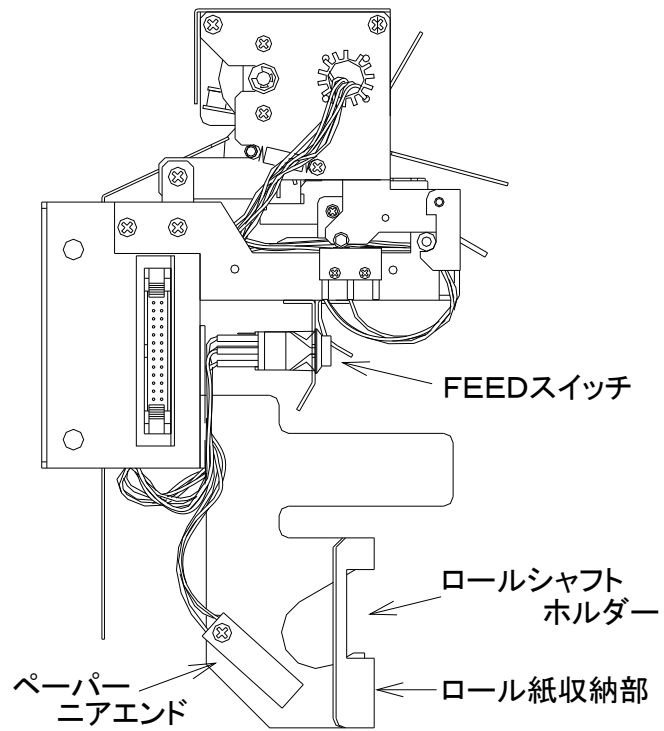
□ 各部の名称 (TS / TSP - 6 X 2 C)



□ 各部の名称 (TS / TSP-6X2CB)



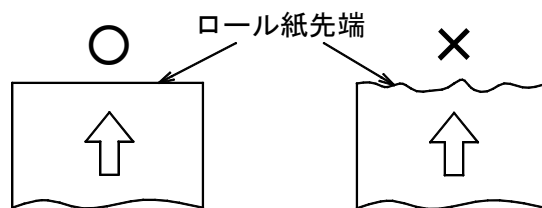
□ 各部の名称 (TSP-6X2CS)



□ ロール紙（記録紙）のセット方法(TS/TSP-6X2C)

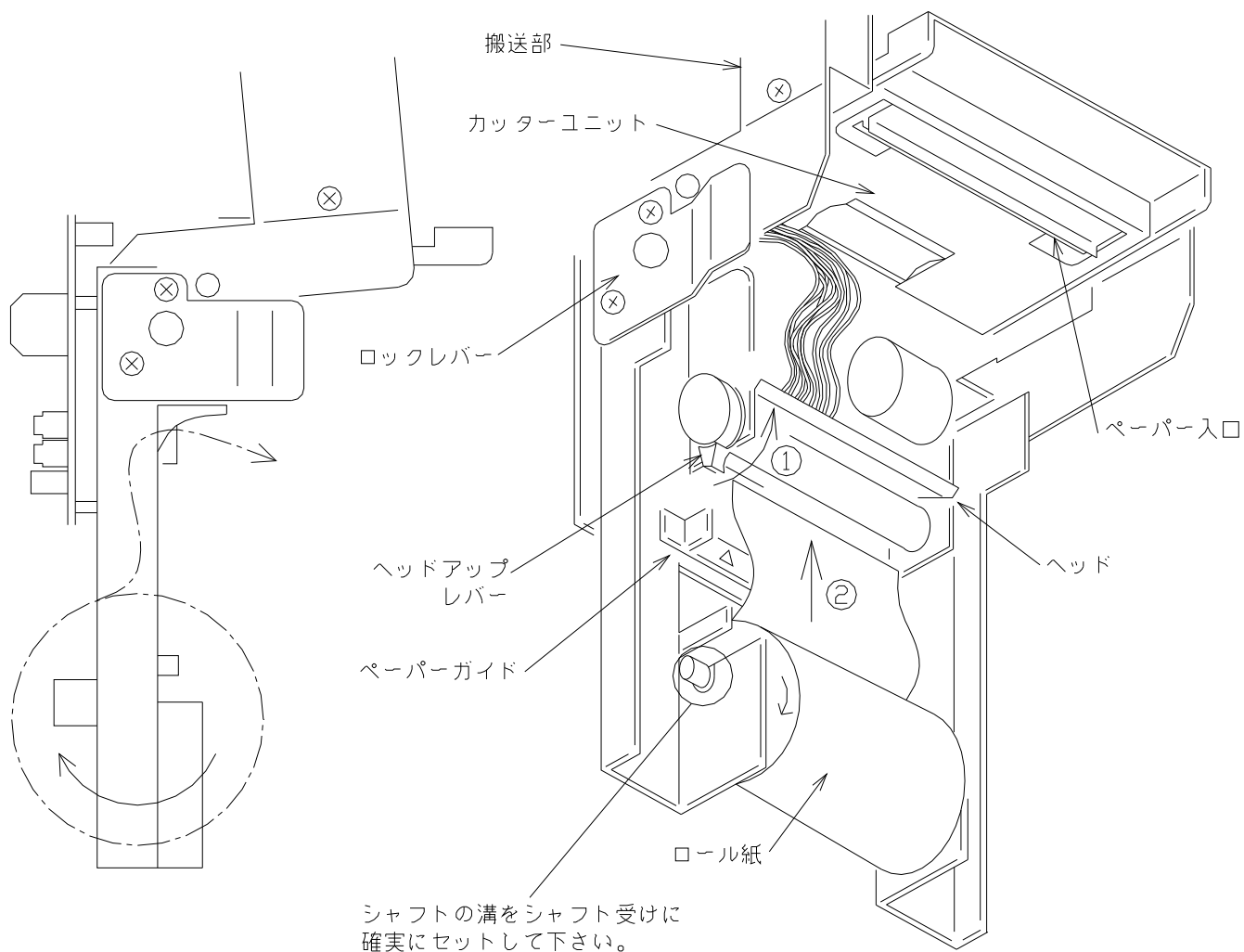
1. ロール紙の先端は下図に従って、真っ直ぐにカットしてください。

先端を2つ折りにしてメカニズムに挿入すると 紙詰まりの原因になる為、禁止します。



ロール紙先端形状

2. TSP（搬送部有り）の場合は、ロックレバーを外側に少し開き 搬送部を上方へ回転させます。確実に固定されたのを確認して下さい。又、操作途中で ロックレバーに触れると搬送部が落ちてくる場合がありますので注意して下さい。
3. カッターユニットを上方へ回転させます。
4. ヘッドアップレバーを上げます。（矢印①）
5. ロール紙をペーパーガイドの△印に沿って メカニズムの下方から挿入します。（矢印②）



6. ロール紙の先端をヘッドの先端まで送り ヘッドアップレバーを下げて、カッターユニットを元の位置に戻します。

ロール紙の先端がヘッドから5mm以上出た状態では カッターユニットを元の位置に戻してもロール紙はカッターユニットを通りません。ロール紙の先端がヘッドの先端から出てしまった場合 及び ロール紙の先端が曲がっている場合は、FEEDスイッチを押して ロール紙を10cm程度 送り出します。ロール紙の先端をカッターユニットのペーパー入口に通してから カッターユニットを元の位置に戻し FEEDスイッチを操作してロール紙をカットしてください。

(TSPタイプの場合、カッターユニットからロール紙の先端が出ている状態で搬送部を元の位置に戻すと、ロール紙が搬送部に吸入されません。)

7. TSPタイプの場合は、ロックレバーを外側に少し開き 搬送部をロック位置まで戻します。
8. TSPタイプの場合は、FEEDスイッチを押して 搬送部にロール紙が送られればセット完了です。



注意

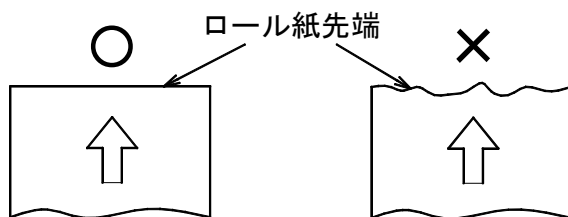
ロール紙は、純正品を使用してください。

純正品以外を使用されると、本来の性能を発揮出来ない上に 故障の原因となることがあります。

□ ロール紙（記録紙）のセット方法(TS/TSP-6X2CB)

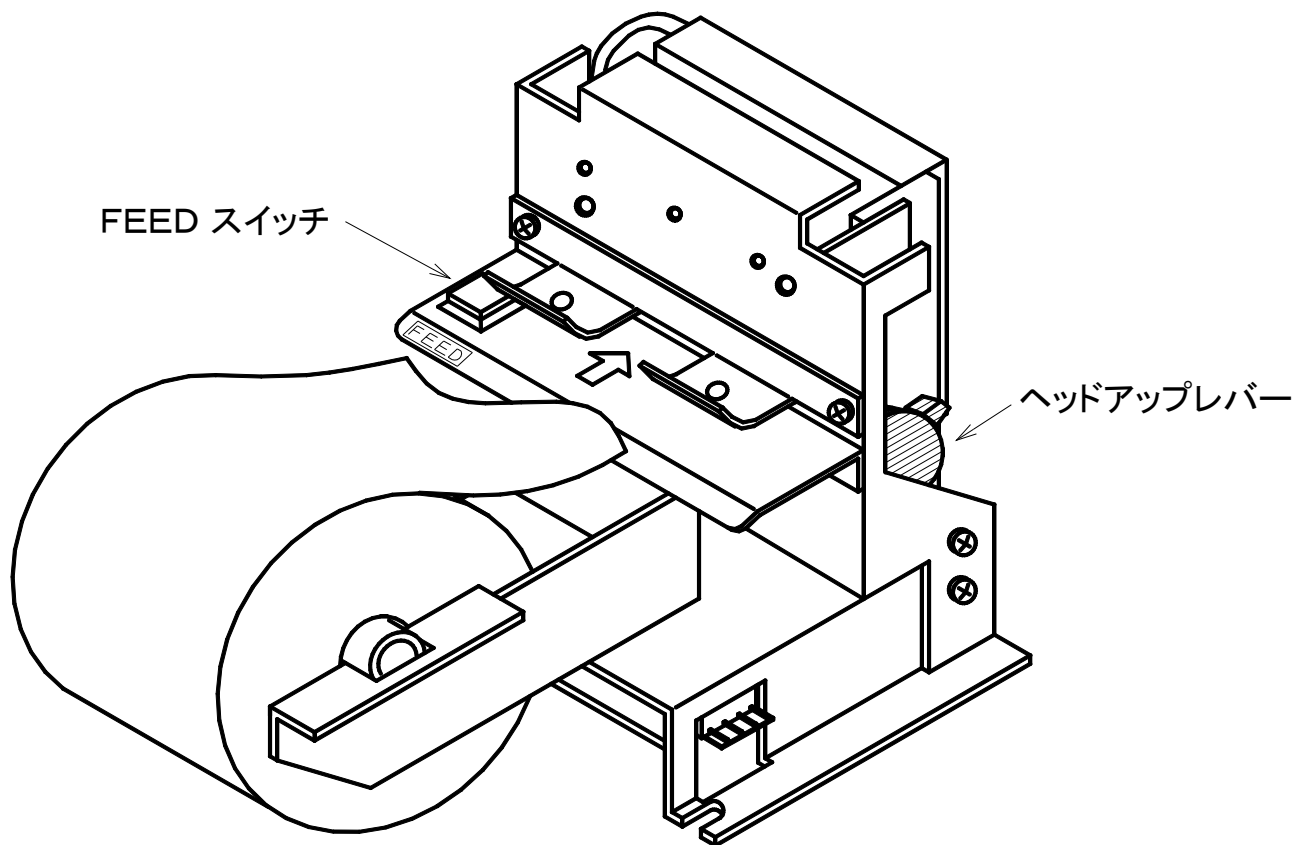
1. ロール紙の先端は下図に従って、真っ直ぐにカットしてください。

先端を2つ折りにしてメカニズムに挿入すると 紙詰まりの原因になる為、禁止します。



ロール紙先端形状

2. ヘッドアップレバーを上げます。
3. ロール紙入口からメカニズムの内部に向かってロール紙を挿入するとオートローディング機能により自動的にセットされます。
4. ロール紙が入りにくい時は FEED スイッチ を押しながらロール紙を挿入してください。
5. ヘッドアップレバーを下げます。



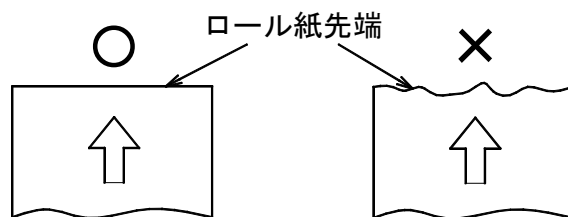
注意

ロール紙は、純正品を使用してください。

純正品以外を使用されると、本来の性能を発揮出来ない上に 故障の原因となることがあります。

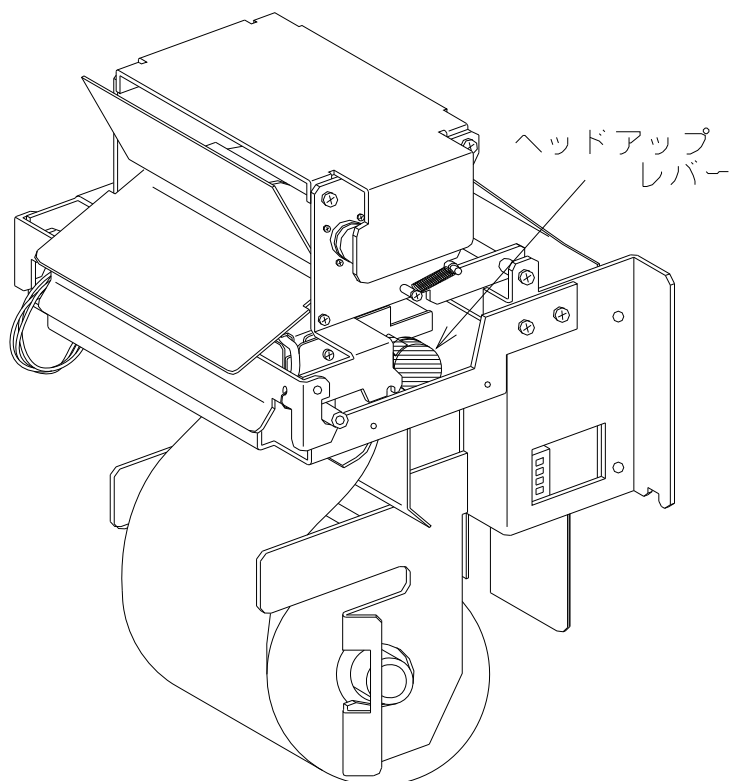
□ ロール紙（記録紙）のセット方法(TSP-6X2CS)

1. ロール紙の先端は下図に従って、真っ直ぐにカットしてください。
先端を2つ折りにしてメカニズムに挿入すると 紙詰まりの原因になる為、禁止します。



ロール紙先端形状

2. ヘッドアップレバーを上げます。
3. ロール紙入口からメカニズムの内部に向かってロール紙を挿入するとオートローディング機能により自動的にセットされます。
4. ロール紙が入りにくい時は FEED スイッチ を押しながらロール紙を挿入してください。
5. ヘッドアップレバーを下げます。



注意

ロール紙は、純正品を使用してください。

純正品以外を使用されると、本来の性能を発揮出来ない上に 故障の原因となることがあります。

□ 紙づまり時の対応

1. 印字メカニズムでの紙づまり

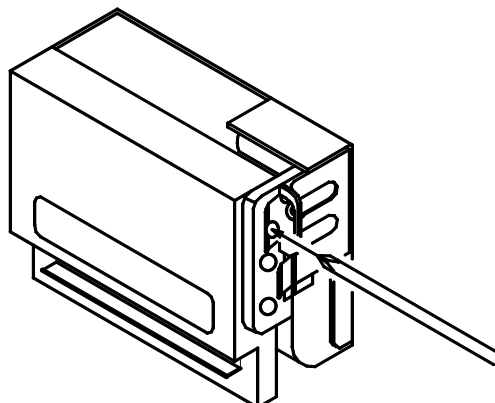
電源を切ってから 紙づまりの原因を除去して、電源を再投入してください。

2. オートカッターでの紙づまり

電源を切ってから 紙づまりの原因を除去して、電源を再投入してください。

カッターユニットの側面の穴より

(+) ドライバを使用して、カッター刃を移動させる事が出来ます。



3. 搬送部での紙づまり (TSPの場合のみ)

1) TSP-6X2C/CBの場合

電源を切って搬送部を停止させてください。

両方の固定ばねを左右に開いて 搬送部を上方に上げてから、紙づまりの原因を除去してください。

ベルトが外れた場合には、元の位置 (ローラ位置) にはめてください。

2) TSP-6X2CSの場合

搬送部を上方へ回転させ、紙づまりの原因を除去してください。

□ FEEDスイッチ部のランプについて

FEEDスイッチ部に内蔵されているランプ (LED) は、次の条件時に点滅します。

条 件	点滅周期	解 除
ペーパーエントリー 記録紙が無い	1 秒	記録紙の補充
ヘッドアップ 印字ヘッドが記録紙と密着していない	1 秒	ヘッドアップレバーを操作してヘッドを下げる
サーミスタの故障 印字ヘッドに内蔵されている温度監視用サーミスタの故障	0.1 秒	印字ヘッドの交換 又は印字メカニズムの交換
カッターユニットの故障 紙づまりやモータ故障による カット動作不良	0.1 秒	カッターユニットの交換
搬送エラー 記録紙の搬送が異常である	0.1 秒	搬送エラーの項参照
印字ヘッドに内蔵されている温度監視用サーミスタが 100 度を感知	0.1 秒	印字メカニズムの交換 又は 制御基板の交換

(注) 搬送エラーは TSP-6X2C/CB/CS のみのエラーになります。

□ 印字中のペーパーエンドについて

印字中にペーパーエンドになった場合は、新しい記録紙をセットしてください。

記録紙はオートローディング機能により F E E D スイッチの操作なしにセットできますが、最後には必ず F E E D スイッチを操作してください。

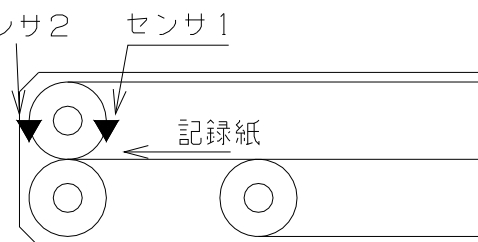
プリンタはこの F E E D スイッチの操作により 記録紙のセットが完了したものと判断し、記録紙の確認後に印字を開始します。

F E E D スイッチを操作しなかった場合、10秒後に記録紙の確認を行い、記録紙有りと認識した場合は、記録紙のセットが完了したものとみなします。

□搬送エラーについて（TSP-622C/CA/CB）

プレゼンタ（搬送部）には2個のセンサが設けられています。

当機はこのセンサを利用して搬送部の動作を確認しており、動作不良の場合にエラーとして処理されます。



1. 搬送エラー

記録紙をカット後にセンサ1まで4秒以内に到達し、次のセンサ2に4秒以内に到達しない場合は搬送エラーとなります。

解除は電源を再投入するか、INITIAL信号を入力してください。

2. 排出エラー

排出モードの場合ではセンサ1の通過に4秒、またセンサ2の通過に4秒の時間を設けてあります。この時間内に各センサを通過しない場合は排出エラーとなります。

記録紙を抜き取れば自動解除されます。

3. ホールドエラー

ホールドモードの場合ではセンサ1を4秒以内に通過しないとホールドエラーとなります。

記録紙を抜き取れば自動解除されます。

4. 引き込みエラー

ホールドモードの場合、保持時間経過後に搬送部を逆転させ、記録紙の引き込みが開始されます。

4秒以内に引き込みが完了しない場合は引き込みエラーとなります。

記録紙を抜き取れば自動解除されます。

5. FEEDスイッチによる紙送り時の搬送エラーについて

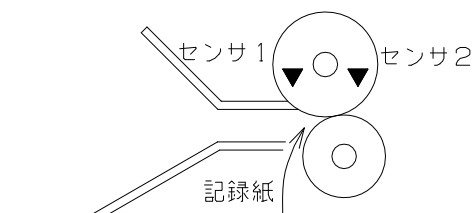
FEEDスイッチを操作した場合は項目1の搬送エラーは確認しますが、項目2、3、4のエラーは無視されます。（エラー処理はしません）

6. 各エラーにおける信号の状態

エラー名	$\overline{\text{ERROR}}$	BUSY	DTR
搬送エラー	“LOW”	“HIGH”	“LOW”
排出エラー	“LOW”	“LOW”	“HIGH”
ホールドエラー	“LOW”	“LOW”	“HIGH”
引き込みエラー	“LOW”	“LOW”	“HIGH”
エラー無し	“HIGH”	“LOW”	“HIGH”

□ 搬送エラーについて (TSP-622CS/632CS)

プレゼンタ（搬送部）には2個のセンサが設けられています。
当機はこのセンサを利用して搬送部の動作を確認しており、
動作不良の場合にエラーとして処理されます。



1. 記録紙長さエラー

記録紙をカットした時点でセンサ1、2の位置に記録紙が無ければ搬送できないので、エラーとなります。

解除は搬送ユニットを開放して、記録紙を取り去ってください。

搬送ユニットを再セットすればエラーは自動解除されます。

2. 搬送エラー1

記録紙をカット後にセンサ1を4秒以内に通過しない場合は搬送エラーとなります。

解除は記録紙長さエラー同様、搬送ユニットを開放してください。

3. 搬送エラー2

記録紙を前方に搬送する場合は、センサ2を4秒以内に通過しないと搬送エラーとなります。

記録紙を抜き取れば自動解除されます。

4. 排出エラー

排出モードの場合ではセンサ1を4秒以内に通過しない場合は排出エラーとなります。

記録紙を抜き取れば自動解除されます。

5. 引き込みエラー

ホールドモードの場合、保持時間経過後に搬送部を逆転させ、記録紙の引き込みが開始されます。

4秒以内に引き込みが完了しない場合は引き込みエラーとなります。

記録紙を抜き取れば自動解除されます。

6. FEEDスイッチによる紙送り時の搬送エラーについて

FEEDスイッチを操作した場合は、項目5の引き込みエラーは無視されます。

(エラー処理はしません)

7. 各エラーにおける信号の状態

エラー名	$\overline{\text{ERROR}}$	BUSY	DTR
記録紙長さエラー	“LOW”	“LOW”	“HIGH”
搬送エラー1	“LOW”	“LOW”	“HIGH”
搬送エラー2	“LOW”	“LOW”	“HIGH”
排出エラー	“LOW”	“LOW”	“HIGH”
引き込みエラー	“LOW”	“LOW”	“HIGH”
エラー無し	“HIGH”	“LOW”	“HIGH”

□ メンテナンスの方法

1. サーマルヘッドのクリーニング

用紙カス、異物等によりヘッドやプラテンの寿命を損なう場合があります。

定期的に清掃を行ってください。

2. 長期間使用しない場合

長期保存（常温にて半年以上）する場合は、記録紙をはさみ、ヘッドアップ状態にしてください。

又、短期保存の場合でも記録紙は、はさんだ状態にしてください。

ゴムローラとピンチローラ及びヘッドが直接接触した状態が長期に続いた場合にはゴムローラが部分的に変形し、印字ムラが発生する危険性があります。

結露の可能性のある環境では、電食防止のため、通電状態で長時間放置しないでください。

又、ロール紙をセットしたまま放置しますと、ロール紙の変色、退色、プラテンとの貼り付きが発生する場合があります。このような時は、新しいロール紙に交換してください。

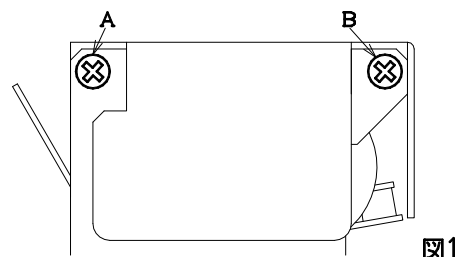
□ TSP-6X2CSベルト交換

1. TSP-6X2CSに使用されていますベルト類は消耗品です。
一般走行寿命は3000時間になっていますが、環境（温度、湿度、その他）によって大きく左右されますので、1年を目安に交換することを推奨します。
（使用頻度が高い場合は別途相談してください。）

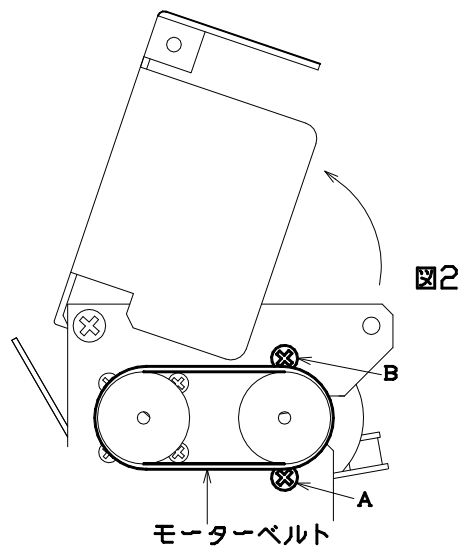
次の要領で交換します。

（外したねじはなくさないでください。）

- 1) 図1の搬送部のねじAを1回転のみ回し、ゆるめます。
（左右計2）
- 2) 図1の搬送部のねじBを取り外します。（左右計2）

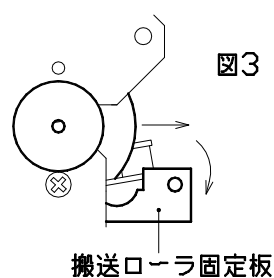


- 3) 搬送部カバーを上方へ回転させます。
- 4) モーターベルトはこの状態で交換します。
搬送ベルトの交換はモーターベルトを取り外し
次に進みます



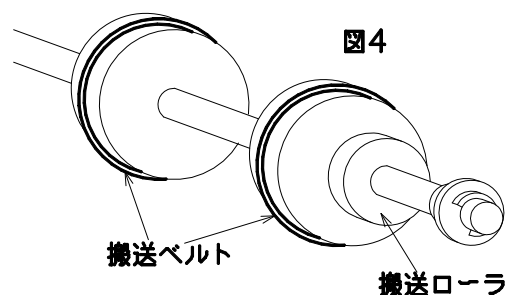
- 5) 図2のねじAを1回転のみ回し、ゆるめます。
（左右計2）
- 6) 図2のねじBを取り外します。（左右計2）

- 7) 搬送ローラ固定板を回転させ、搬送ローラを
取り外します。



- 8) 搬送ベルトはこの状態（図4）で交換します。
- 9) 取り付けは逆の手順で行います。

2. 使用中に搬送ベルトが汚れると印刷面にベルト跡がつく場合があります。
定期的に搬送ベルトを清掃するか、新しいベルトに
交換してください。



□ 消耗品の購入について

○ ロール紙

機 種	形 式
TS-622C TS-622CA TS-622CB (58) TSP-622C TSP-622CA TSP-622CB (58)	NP-580, NP-581, NP-582 より選択
TS-622CB (60) TSP-622CB (60)	NP-604, NP-603, NP-600
TSP-622CS	NP-603, NP-604
TS-632C	NP-800
TS-632CB	NP-800, NP-801, NP-802, NP-800CS
TSP-632CS	NP-802, NP-800CS
TS-642C	NP-1120

型 式	外径	長さ	紙厚
NP-580	φ50	30m	64μ
NP-581	φ70	60m	64μ
NP-582	φ73	55m	75μ
NP-600	φ48	28m	64μ
NP-603	φ120	180m	64μ
NP-604	φ100	118m	64μ
NP-800	φ50	30m	64μ
NP-800CS	φ120	140m	75μ
NP-801	φ80	68m	75μ
NP-802	φ80	59m	75μ
NP-1120	φ48	27m	64μ

基板カバーを装着している製品の場合、NP-581, NP-582使用時は、
基板カバーを取り外すか、基板カバーの下端を後方へ少し折り曲げる必要があります。

○ ベルト

機 種	品 名
TSP-622CS TSP-632CS	モーターベルト
TSP-622CS TSP-632CS	搬送ベルト



ナダ電子株式会社

本 社	神戸市東灘区本山南町1丁目4番43号	〒658-0015
	TEL(078)413-1111 FAX(078)412-2222	
東 京(営)	東京都港区芝4丁目5-11 芝プラザビル	〒108-0014
	TEL(03)3455-4230 FAX(03)3455-4249	
名古屋(営)	名古屋市名東区上社1-1304 北村第三ビル	〒465-0025
	TEL(052)776-1921 FAX(052)775-6080	
福 岡(営)	福岡市博多区博多駅南1丁目7-16 オーリン7号ビル	〒812-0016
	TEL(092)471-8305 FAX(092)471-8355	